

2017年

9月16日(土) - 11月5日(日)

入館料 一般850(650)円、高校・大学生500(400)円

小・中学生300(200)円

入館時間 10時～17時30分(閉館は18時)

休館日 月曜休館(但し祝日の場合は翌日休館)

※(一)内は前売券及び20名以上の団体、県民レッジ受講者割引料金

※JAF会員は会員証を提示して10%割引となります。

※前売券はEチケット取り扱いのコンビニ各店にてお求めいただけます。

商品番号 0246749

主催 公益財団法人鷹山宇一記念美術振興会
後援 青森県、七戸町、七戸町教育委員会、NHK青森放送局
青森放送株式会社、株式会社青森テレビ、青森朝日放送株式会社、株式会社東奥日報社、株式会社テリー東北新聞社
株式会社陸奥新報社、七戸町文化協会、一般社団法人しちのへ観光協会、鷹山宇一記念美術館友の会
協賛 株式会社七戸物産協会



「白い花」



「時計台のある風景」

ほくしん
北辰の宙
そら

渡辺貞一

生誕百年記念展

— 中井昌美コレクション —



道の駅しちのへ「七戸町文化村」

七戸町立 鷹山宇一記念美術館

語り継がれる展覧会を。

〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94
TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 <http://www.takayamamuseum.jp/>





—人間は死ぬものだ。
生きていくうちに好きな絵を描こう—

「草帽」

渡辺貞一は大正6年青森市三内に生まれました。4歳年上の長兄の死をきっかけに自分の最も希望する画家の道を歩むことを決意、18歳で上京し川端画学校に入ります。しかし昭和19年、海軍要員として南ボルネオ島へわたり、昭和20年、現地召集されタラカン島で激戦に加わりますが、奇跡的に生き残り翌年復員帰国します。戦後は国画会に作品の発表を続け、幻想的で静謐な独自の画風を展開し、晩年になって人気を博しました。

-中井昌美コレクション-

中井昌美氏は京都在住の美術蒐集家であり中でも渡辺貞一の画風を深く愛し、その所蔵作品は160点余りにのぼります。中井氏は、今年が渡辺貞一の生誕百年目にあたることから、故郷青森県での渡辺貞一作品の活用を願い、七戸町へ162点寄贈されました。



「時計台の風景」

本展は、生涯にわたり故郷青森の北方性を、透明な色彩とマチエールによって描き続け、その奥に秘めた高い精神性をもつ渡辺貞一作品を、生誕百年を記念して一挙公開する特別展です。



「麦と少年」



「鳥」



「冬のりんご園」



道の駅しちのへ「七戸町文化村」
鷹山宇一記念美術館 語り継がれる展示会を。

〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94
TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 <http://www.takayamamuseum.jp/>

